



志楽小学校だより

舞鶴市立志楽小学校
平成30年度学校だより
第5号
平成30年7月20日発行



継続は力なり。「やったよ！」と言える夏休みに！

太陽が照りつけ、登校するだけで子どもたちが汗だくになる厳しい暑さになった今年の夏。一方で、今回の西日本を中心とした記録的な豪雨に見舞われ、舞鶴でも多くの皆さんが被災をされただけでなく、道路・交通機関の寸断により、保護者の皆様にも多大な影響があったことと思います。心よりお見舞い申し上げます。

4月にはかわいい1年生を迎え全校 388 名でスタートして4か月。本日、第1学期の終業式を大きな事故もなく迎えることができました。朝は、各辻にダイヤモンドパトロール隊の皆様が立って子どもたちの登校を見守ってくださり、下校時にはお母さんやパトロール隊の皆様に迎えていただきました。この1学期間も、保護者・地域の皆様方の温かいご支援とご協力により、子どもたちは元気をいただいて学校生活が過ごせましたこと、誠にありがとうございました。

一つ一つの取り組みや行事をとおして、子どもたちは、個々の「よさ」や「可能性」など、持てる力を発揮して大きく成長した1学期でした。

さて、明日からは夏休みです。39 日間の夏休みとなります。家庭や地域で過ごし、自立・自律の芽を育てるチャンスです。「継続は力なり」を合言葉に、何か一つのことを続けてやり遂げる喜びを味わわせるとともに、以下の点にも挑戦させてください。

- ① **午前中の過ごし方が重要**…午前中は学習効率が高いので午前中に学習をし、午後は自由に読書など活動内容を子どもに選択させて、活動のメリハリをつけてください。
- ② **早寝・早起き・朝ごはん テレビ・ゲームはほどほどに**…生活リズムを崩さず、睡眠時に分泌される成長ホルモンも意識して、睡眠時間を確保してください。
- ③ **お手伝いする子どもは伸びる**…「段取りを考えて工夫し、粘り強く続ける」このことは、将来の「社会生活をスムーズにする能力」につながります。家族の一員としての自覚も生まれ、「ありがとう」「助かった」の一言で人の役に立つという自己有用感が得られます。

保護者の皆様には長くて大変な夏休みだと思えますが、子どもたちには貴重な体験のできる大切な機会ですので、毎日の平凡な生活の中に目標を持たせてください。そして何か一つでも「やったよ！」と言える夏休みにさせたいものです。

最後に、ご協力をお願いいたします。同じ校区に住んで支援学校に通学している児童が夏休み中に地域の行事と一緒に参加できますよう、格別のご配慮をよろしくをお願いいたします。

まだまだ猛暑が続くそうです。なんと言っても命が大切。皆様のご健康とこの夏休みが子どもたちにとって事故のない意義のあるものとなりますよう祈念しております。



校長 小森 昌子
教職員 一同

地域に帰る

「先生、今度、ぼく、お祭りで踊ることになったんや。」
 「何の踊り？」
 「わからんけど、お祭りの時に踊るから練習するんや。」
 「へえ、三番叟か何かの踊りかな。がんばって練習してよ。」
 「はあい。」

7月初めに、登校してきた男の子が真っ先に伝えてくれました。秋のお祭りの時に境内で踊る踊りの練習のようです。きっと夏休みの間から練習が始まるのでしょう。地域の皆さんにお世話になって、伝統の踊りを受け継ぐことができる志楽の子どもは幸せです。

志楽川沿いに植えたコスモスが 20 センチ余りに伸びてきました。そして気の早い花がもう八つも咲いています。草刈りと共にコスモスを刈ってしまわないようにと、暑い中、作業の方に伝えてくださった地域の方の思いが咲かせているのかもしれない。

夏休み、子どもたちは地域に帰ります。地域の方にも大きな声であいさつができるように話をしていますが、なかなかのようです。あいさつを交わす地域には、不審者は現れないと聞きます。「おはよう。」「こんにちは。」「ありがとう。」 素敵なあいさつが飛び交う地域・学校を目指します。夏休みもご協力お願いします。